

武石地域協議会 会議概要

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成24年2月20日 午後7時00分から午後9時00分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 第1会議室
- 4 出席者 新井繁雄委員、上野正司委員、大沢春樹委員、北沢賢二委員、清住章雄委員、清住洋子委員、越 博徳委員、小山洋江委員、下村孝明委員、滝沢由美子委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、樋澤たえ子委員、松井幸夫委員、松代典之委員、森美由紀委員、柳沢裕子委員（欠席 3名）柿蔭祐子委員、小宮山昌武委員、竹内利通委員、
- 5 市側出席者 伊藤地域自治センター長、木藤地域振興課長、山口市民生活課長、牛山産業観光課長兼建設課長、近藤健康福祉課長、掛川武石教育事務所長、児玉地域振興課長補佐（欠席 0名）
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 1人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 24年3月12日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協議事項等

1 開会（滝沢副会長）

2 会長あいさつ（清住会長）

①年度末が近づいてきた。あと2回で今地域協議会も終わる。②H23には雲溪荘について協議してきた。今日まとめをしたい。③他に、わがまち魅力アップ応援事業の説明もある。よろしく願いたい。

3 センター長あいさつ（伊藤センター長）

①雲溪荘のマイクロバス購入は、1台一般財源で予算化することとなった。②新年度になると、雲溪荘、オフトーク、公園化構想などの重要課題があるので、地域の皆さんに意見を伺う住民説明会を実施したい。来月、より詳しくお知らせしたい。

4 協議事項

雲溪荘のまとめについて

【資料説明】（事務局）

これまでに施した協議を基に、来期に引継ぐ資料として事務局でまとめた資料を協議した。

【主な質疑・意見】

（会長）このようなまとめで良いか。

（委員）上田市と合併した結果こうなったと思う。地域協議会の役割は、雲溪荘をいかに存続するかを考えること。今あるものはお金を投入しても守るという考えだ。歴史を地域協議会が変えていいのか。みんながそれだけの心構えがあるか。上田と合併したからこうなった。廃止すべきという言葉はまずい。廃止という言葉はきつい。

（委員）廃止といったのは私、雲溪荘の現状を広く住民が知ったら、廃止という意見を持つ人もいるだろうと考える。住民周知には、数字も交えて知らしていくべきと思う。住民周知をしてみるべきと思う。

（会長）協議会として何をするのかを議論すべき、利用率が年々減少しているのを増やしていかなければ存続できないということ。あるものをなくしてはいけないという考えには賛同できない。

（委員）⑤の「専門部会の検討」はのせるべきか、専門部会で廃止まで論議するのはいかがなものか。

（会長）残すために何をすべきかを考えるべきという考えか。専門部会を設置すべきかどうかを論議してほしい。

（委員）専門部会についても検討が必要。

（会長）⑤の「上記①～④」を抜いたらどうか。（事務局注 ①から④は今後の課題を表記しており文章の①から④を抜くことで、課題解決のために専門部会を検討するという内容から、単に専門部会の設置を検討するという内容に変わる。）

（センター長）存続と廃止、両方を検討するために「上記の諸課題について」としたらどうか。

（会長）「①～④」を「等」になおすということかどうか。

（委員）資料は、廃止があつて存続があるが逆ではないか。地域内の利用率も「決して高率とは言えず」

という表現があるが、利用率は低率ではないと思うのでこの部分は変えるべきだ。

(委員) 以前に比べ料理はよくなった。雲溪荘が改善しつつあるという文言をどこかに入れてほしい。経営努力もしているという文言を入れてほしい。市で経営する施設の中に、雲溪荘以上の赤字のところもある。みんなで利用を増やすにはどうしたらいいかということ住民説明会で論議してほしい。

(委員) 施設は決して悪くないと思う。現実としてプロが指導して経営改善をはかってもサービス内容は何も変わらない。この状態が続くのなら無いほうがいい。私たち世代(30~40代)では雲溪荘は遊びに行く候補にならない。年をとっても使わないと思う。そう考えるとすぐにでも内容を改めてもらい、旅館という形態を考えて、日帰りの施設にするなど考えてほしい。

(センター長) 皆さんのご意見を基に修正したい。「雲溪荘も努力している。」という文言も入れるようにする。直して来月提案するという事でよろしいか。

(会長) 貴重な意見に感謝する。センター長の発言した修正でよろしいか。

—— 一同了承 ——

【報告事項】

わがまち魅力アップ応援事業のプレゼンテーション選考について

【資料説明】(事務局)

選考申し込み団体、プレゼンテーションの方法、選考方法、様式などについて説明、了承を得る。

【その他】

(委員) 地域振興基金について、本年は議題にならなかったのは残念。しっかりした使途を決めていただきたい。地域の人口が4,000人を割っている。若い世代が少なくなっている。隣の長和町は、町の予算でマンションを2棟作り、さらにあと2棟計画があると聞く。武石に若い人が住んで、若い母親が安心して子供を育てることができるようしてほしい。その所に基金を使ったらどうか。若い世代の人のために基金を使ってほしい。

(会長) 前年度は基金について分科会に分かれて話をすすめた経過があるが、基金を活用できる現実的な案は出なかった経過がある。3億円という基金は、大きい事業が出たらすぐに終わってしまう。しばらくは様子を見たほうがいいと私は判断した。しかし、次期は基金の使途についてもう一度検討することでもいいと思う。今のところ、基金を使えなくなるということはない。来期にもう一度検討することも考えられる。

(委員) 丸子地域協議会の研究会と産婦人科について武石の地域協議会委員として参加して協議してきた。婦人科や産婦人科は無いと困る。上田に新たにできるが、依田窪に近いところにあることは必要。今後も丸子と協議をしたいが、来期の委員の中から人選を願いたい。

【次回日程】

協議の結果 3月19日(月)と決定、最後のため記念撮影をするので、会場は武石公民館第1会議室とする。

5 閉会(滝沢副会長)